

第38回日本レーザー医学会

会期:2017年11月10日、11日

場所:慶応義塾大学 日吉キャンパス 協生館



テーマ:

「産学連携による安全なレーザー医療の創造」

解説講演:

小川恵美悠 慶応大学

「光線力学アブレーション:基礎原理からデバイス開発まで」
特別企画シンポジウム

「PDT適応拡大のために」「レーザー医療安全の現状と課題」
「革新的なレーザー機器を開発するために

:臨床試験のあり方を考える」

理工学者の主催する総会としてデバイス開発に資する議論が活発であった。学問の基本は萌芽的な一般演題であるとの会長の考えのもと、ポスター発表には座長の下で発表する時間が設けられた。参加者が427名、演題総数101題。大学内施設を利用し、殆どの業務は研究室のスタッフと学生によって行われた。今後の学会運営のあり方に一石を投じた会であった。

慶応義塾大学・物理情報工学科

荒井恒憲

(敬称は省略させていただきました)